



# 第6回 ロボティクス・シンポジア 講演募集 1st Call for Papers

主催：日本ロボット学会，日本機械学会（ロボティクス・メカトロニクス部門）  
計測自動制御学会（システムインテグレーション部門）

第6回ロボティクス・シンポジアを，2001年3月18日 - 19日に伊豆・修善寺で開催致します。本シンポジアは，従来，個々に開催されていた「知能移動ロボットシンポジウム(RSJ, JSME, SICE 共同共催)」，「ロボティクス自動化システムシンポジウム(SICE 主催)」，「ロボットシンポジウム(RSJ 主催)」，「ロボットセンサシンポジウム(RSJ, JSME, SICE 共同共催)」が統合されたシンポジアです。

本シンポジアの目的は，広くロボット学関連の研究に携わる研究者間の，学会の垣根を越えた研究・情報の交流を促し，何よりもレベルの高い議論の場を形成することにあります。そこで，第4回で導入された1泊2日の泊り込み形式を継承し，伊豆・修善寺のホテルで開催することになりました。泊り込み形式を生かした特別企画も計画中です。

本シンポジアでは，レベルの高い議論が行えるように，Full Paper投稿によって講演申し込みをさせていただき，プログラム委員会が中心となって論文査読を行ない，コメントを著者にフィードバックします<sup>注1</sup>。また，優秀な発表には「ロボティクスシンポジア賞」を表彰します。シンポジアのプログラム編成は，並列セッションの数をできるだけ少なくし，十分な発表時間を取れるように配慮する予定です。皆様奮ってご参加下さい。

注：採択論文数を制限することもあります。

**開催期日：** 2001年3月18日（日） - 19日（月）

**会場：** ラフォーレ修善寺（静岡県田方郡修善寺町大平字大城1529）

Tel: 0558-72-3311 Fax: 0558-72-6115

**トピックス：** ヒューマンロボットインタフェース，ハプティックデバイス，ホームロボット，福祉ロボット，メディカルロボット，宇宙ロボット，ペットロボット，エンターテインメントロボット，移動・脚ロボット，マイクロシステム，ロボットビジョン，アクティブセンシング，センシング戦略，新センサ，センサフュージョン，作業計画，自動化技術，コンピュータショナルインテリジェンス，創発・進化・学習，マルチエージェント，ネットワークロボティクス，感性評価，その他，マニピュレータ・ハンド・制御などロボット工学に関連する諸分野

**論文投稿による講演申込切：** 2000年11月15日（必着）

**参加登録費：** ¥35,000（参加費，論文集，

**採録通知（予定）：** 2001年 1月10日

宿泊¥6000，

**参加登録切：** 2001年 1月24日

懇親会¥3000を含む）

**予稿集用最終原稿切：** 2001年 1月24日（必着）

## 参加登録：

現地宿泊を原則とします（深夜に及ぶ行事を予定しております）。論文の採択は参加登録申し込みを前提と致しますので，最終原稿とともに参加登録ください。ホテルの部屋の数には限りがありますので，できるだけ早めにお申し込みください。

## 問い合わせ先：

〒239-8686 横須賀市走水1-10-20 防衛大学校 情報工学科

中内 靖 Tel: 0468-41-3810 (内 3776) Fax: 0468-44-5911 Email: nakauchi@cc.nda.ac.jp

<http://www.nda.ac.jp/cc/robosym/>（最新の情報はこちらを参照して下さい）

## 講演申し込み方法：

A4判の用紙に，講演タイトル，著者全員の名前と所属，講演予定者の氏名と所属学会・会員種別，連絡先担当者の氏名・所属・住所と電話番号・FAX番号・電子メールアドレスを記載し，講演予定の論文のコピーを4部送付して下さい。なお，電子メールを普段お使いでない場合にはその旨お書き添えください。原稿は，A4判2コラムで，6ページが原則ですが，最大8ページまでなら認めます（超過料金は¥10,000/頁となります）。講演者は主催3学会の会員（正会員，学生会員）とします。

## 講演申込書送付先：

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台75-9

横浜国立大学 工学部 生産工学科

第6回ロボティクスシンポジア プログラム委員長

藪田 哲郎 Tel/Fax: 045-339-4335 Email: yabuta@post.me.ynu.ac.jp